



サルゲイロ・チームで練習に汗を流す鈴木さん（右から2人目）、その後ろは川崎さん＝リオデジャネイロで

# ブラジル・サンバ 踊らにや

## リオのカニバル

### 超一流チームに邦人2人

### 「快拳」駐在員大喜び

【サンパウロ二日】和田特派員  
ブラジルといえはサンバ、サンバといえはリオのカニバル。「これがないと夜も目も明けず」と軽快なリズムと激しい踊りに園全体が揺れ動く。今年  
は三日に開催するが、サンバ大  
会を断る暇もリオの名門サンバ  
チームに日本企業の駐在員二人  
が参加、ムラータ（程血鬼）た  
ちと共に踊る。日本ならさしず  
めプロ野球の巨人、阪神にも相  
当する超一流チームだけに「快  
拳だ」と駐在員社会も大騒ぎで

外国人が入り込むのはまず無理  
とみられていた。

この「サンバ野郎」は三愛商  
事リオデジャネイロ支店に勤務  
する川崎代治さん（37）と同僚  
の鈴木久仁俊さん（33）の二人。  
実は川崎さんは今度で三回目、  
鈴木さんは二回目の参加だが、  
今年が初めて、リオのカニバル  
最大と呼び物「エスコラ・  
デ・サンバ」（サンバ学校）十  
四チームのいわば「二軍」に名  
を連ねることになった。ブラジ  
ル人にとつては一軍で踊ること  
は大きな事なことで、ましてや  
外国人が入り込むのはまず無理  
とみられていた。

川崎さんと鈴木さんが日本人  
として初めて入校を許されメン  
バーとなるサルゲイロ・チーム  
は、優勝六回を誇る「名門」。  
七八年にリオに赴任した川崎さ  
んは、日本からのお客用にカー  
ニバルの家内書を作成したこと  
がきっかけで、カニバルに熱  
を上げるようになり、果ては見  
たつぷり飲んで四十分の持ち時  
間踊りまくったあとのさう快  
さ。これからも毎年出させても  
らいます」。

カニバル前から各チームは  
練習に余念がなく、三日、それ  
が一気に最高潮へと高まってい  
く。カニバルを舞台にした住  
民の映画「黒いオルフェ」の世  
界に魅せられた商社マン二人  
は、赤と白のチームカラーの衣  
装に身を包み四日夜のパレード  
に登場する。

「二チームが十五支部から成  
り、その支部がそれぞれ百人以  
上で構成されている。全体では  
二千人ぐらゐの大部隊で、私た  
ちはその華大勢の踊り役。それ  
でもうれしい」と川崎さん。踊  
りの経験は益踊り以外になし。  
二拍子で体を一生懸命動かして汗  
をかいた後、と意気込む。  
もう一人、鈴木さんの方もい  
わばシロウト。「出演前に酒を  
たっぷり飲んで四十分の持ち時  
間踊りまくったあとのさう快  
さ。これからも毎年出させても  
らいます」。